

## YNU デー2019 紹介

平山次清

YNU デー2019 は去る 10 月 5 日（土）に開催されました。以前は 11 月の大学祭に連動して実施されていましたが、数年前から独立日程となりました。小生は卒業生であると同時に教員 OB という立場で参加しましたが、全てに参加したわけではないので、参加した行事について紹介します。

(1) 校友会総会：

校友会は卒業生だけでなく在學生・職員も含めたコミュニティとして設立されたもので、私は校友会顧問という立場で参加した。学長は副会長として参加している。大学への運営費が削減されつつあるなか、私立大学と同様に校友会を組織し、寄付金を増やすことも大きな狙いである。予算・決算・事業等は会誌 ALLYNU 第 5 号に記載。主たる収入は新入生からの会費収入で 3 千万円規模、支出（事業費＋管理費）は 2 千万円規模。校友会企画の学生向けの講義「経営者が語るこれからの企業戦略と若者へのメッセージ」は各会社のトップ 15 人が 15 回に亘って講義するもので、興味ある OB は登録なし（学生は登録し 2 単位）で聴講できるとのこと（資料添付）。

(2) メイン講演会：

タイトルは「我が国のインフラが抱える課題とその解決に向けてー橋渡しの重要性ー」で講師は本学の藤野陽三上席特別教授（東京大学名誉教授、日本学士院賞 2019 受賞）。橋梁の振動防止などが専門で、インフラの保守の重要性を強調。

(3) 長谷部学長講演：

運営費交付金が減らされているが、科研費の獲得は上向いている。但し大学の国際ランキングは以前の数百位あたりから下がっているので、中身を検証して更なる努力が必要。ランキングは相対的なものであるが、そのなかで横浜市大は上がっている。これは医学部の特定の先生の高いサイテーションによるものらしい。

(4) プラウド卒業生表彰式：

今回、船舶同窓会関係では、吉岡先生に続いて鳥養鶴雄先生（造船卒で航空分野でご活躍）が認定され、他の 3 人とともに表彰された。会場には鳥養先生の娘さんも付き添いで来られていた。なお認定されたプラウド卒業生については中央図書館で図書や模型の展示がなされている（写真左。ひな壇の 4 人。写真右、鳥養先生）。



ひな壇の 4 人。鳥養先生は右から 2 人目



長谷部学長から表彰される鳥養先生



今回認定された 4 名のプラウド卒業生展示品状況(右から 2 つめが鳥養先生。)



鳥養先生の棚の部分の拡大。著書のほかYS-11の模型も展示  
(中央図書館 2 階)。

- (5) 懇親会：第一食堂で懇親会が開催され 300 名近くの参加者があった。鳥養先生にも参加いただいたが、当日経営学部の教室で開催された「ヨット部創部 70 周年記念式典実行委員会」のメンバーの参加を期待したが時間の関係で参加されなかったのは残念であった (鳥人間コンテスト参加学生グループとの写真などを添付)



鳥養先生と鳥人間 G の学生。左から 2 人目は先生の娘さん。



左より、先生の娘さん、上野先生、鳥養先生、井上先生、角先生、平山。

- (6) YNU ミュージアムの現状

YNU ミュージアムは大学正門にほど近くキャンパス内の教育文化ホール内に設置されている。YNU デーの機会に見に行ってみた。昨年特別展が開催された船舶関係の模型は既に撤去されていた。壁一面の青焼き図面「氷川丸」の撤去先が問題であったが、そのまま残されていたのは良かった。



氷川丸の青焼き一般配置図（YNU ミュージム）。この奥に常設展示がある。  
月水金の昼休み時間開館（事前に確認した方が  
良い（電話 045-339-3237/4443）。



船舶教室として展示した計測コンテナ関係説明図とコンテナ船模型・計測用ジャイロ。左写真の奥の常設展示場に展示されている「。